

2009年度第2四半期 決算説明資料

2009年11月2日
旭化成株式会社

1. 2009年度上期実績

主要決算数値 P4～P5

連結損益計算書 P6

金融収支・有利子負債残高 P7

特別損益 P8

連結貸借対照表 P9

連結キャッシュ・フロー計算書 P10

設備投資額、減価償却費、研究開発費

セグメント別売上高・営業利益 P11～P14

2. 2009年度業績予想

当期の業績予想 P16

セグメント別売上高・営業利益 P17～P18

3. 参考資料

セグメント別業績推移 P20～P21

セグメント別概況 P22～P28

セグメント別設備投資額、 P29

減価償却費、研究開発費

設備投資件名 P30

住宅 P31～P34

医薬・医療 P35～P37

1. 2009年度上期実績

主要決算数値(1)

(億円)

	08年度上期	09年度上期		最新予想 [†]	対前年同期 (b-a)		対従来予想 (b-c)	
	a	実績 b	従来予想* c		増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	8,432	6,586	6,510	6,650	-1,845	-21.9 %	76	1.2 %
(内、海外売上高)	(2,369)	(1,762)	—	—	-607	-25.6	—	—
営業利益	401	180	50	160	-222	-55.2	130	259.3
経常利益	407	151	35	135	-256	-62.9	116	330.8
四半期純利益	234	42	0	40	-192	-81.9	42	—

* 09年度第1四半期決算発表時(09年8月4日)の予想。

† 09年10月16日発表の予想。

	09/3月末	09/9月末	増減
	a	b	b-a
総資産	13,793	13,751	-43
自己資本	6,038	6,161	122
有利子負債残高	3,156	3,040	-115
D/Eレシオ	0.52	0.49	-0.03

主要決算数値(2)

	08年度上期	09年度上期
一株当たり配当金	7 円	5 円
一株当たり純利益(EPS)	16.74 円	3.03 円
一株当たり純資産(BPS)	479.31 円	440.54 円

<連結対象範囲>

連結子会社数	106	98
持分法適用会社数	50	50

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	78,350	37,250
為替レート(相場平均:¥/US\$)	106	95

期末人員	24,330 人	25,076 人
------	----------	----------

連結損益計算書

AsahiKASEI

(億円)

	08年度上期	09年度上期
	100.0%	100.0%
売上高	8,432	6,586
	78.0%	77.1%
売上原価	6,580	5,075
	22.0%	22.9%
売上総利益	1,852	1,511
	17.2%	20.2%
販管費	1,451	1,331
	4.8%	2.7%
営業利益	401	180
営業外損益	5	-29
(内、金融収支)	(0)	(-1)
(内、持分法投資損益)	(6)	(-2)
	4.8%	2.3%
経常利益	407	151
特別損益	-14	-46
	4.7%	1.6%
税前利益	393	105
法人税等	-154	-64
少数株主損益	-5	1
	2.8%	0.6%
四半期純利益	234	42

増減	増減率(%)
-1,845	-21.9
-1,505	-22.9
-341	-18.4
-119	-8.2
-222	-55.2
-34	
(-1)	
(-8)	
-256	-62.9
-32	
-288	-73.3
90	
6	
-192	-81.9

金融収支・有利子負債残高

(1) 金融収支

(億円)

	08年度上期	09年度上期	増減
支払利息	-21	-19	2
受取利息	6	6	0
受取配当金	16	12	-4
その他	-0	-0	-0
合計	0	-1	-1

(2) 有利子負債残高

(億円)

	08/9月末	09/3月末	09/9月末	09/3比増減
短期借入金	471	1,008	1,009	1
コマーシャルペーパー	950	550	640	90
長期借入金	685	1,325	1,304	-21
社債	300	250	50	-200
リース債務	7	23	37	14
合計	2,413	3,156	3,040	-115

特別損益

(億円)

	08年度上期	09年度上期	増減
投資有価証券売却益	0	1	1
固定資産売却益	1	0	-0
特別利益	1	1	1
投資有価証券評価損	2	7	5
固定資産処分損	10	13	3
減損損失	2	1	-1
環境対策費	—	12	12
事業構造改善費用	—	14	14
特別損失	14	47	33
特別損益	-14	-46	-32

連結貸借対照表

(億円)

	09/3月末	09/9月末	増減		09/3月末	09/9月末	増減
流動資産	6,822	6,528	-295	負債	7,680	7,516	-163
現金及び預金	980	717	-263	流動負債	4,879	4,742	-137
受取手形及び売掛金	2,089	2,366	278	固定負債	2,801	2,774	-27
棚卸資産	2,735	2,662	-73	純資産	6,114	6,234	121
その他	1,018	782	-236	株主資本	5,991	5,989	-3
固定資産	6,971	7,223	252	資本金	1,034	1,034	—
有形固定資産	4,413	4,561	148	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	374	392	18	利益剰余金	4,183	4,181	-2
投資その他の資産	2,185	2,270	86	自己株式	-19	-20	-0
				評価・換算差額等	47	172	125
				少数株主持分	75	74	-1
資産合計	13,793	13,751	-43	負債純資産合計	13,793	13,751	-43

連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	08年度上期	09年度上期
営業活動によるキャッシュ・フロー①	272	526
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-680	-537
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	-408	-11
財務活動によるキャッシュ・フロー④	203	-260
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-23	6
現金及び現金同等物の減少額⑥(③+④+⑤)	-229	-265

現金及び現金同等物の期首残高⑦	830	981
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	—	4
現金及び現金同等物の四半期末残高(⑥+⑦+⑧)	601	720

(2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	08/上	08年度	09/上	09年度予
設備投資額(有形)	507	1,043	432	840
設備投資額(無形)	162	224	39	60
減価償却費	375	794	395	860
研究開発費	296	608	301	625

セグメント*別売上高・営業利益(1)

(億円)

	売上高			営業利益			従来予想 [†]	
	08年度上期 [†]	09年度上期	増減	08年度上期 [†]	09年度上期	増減	売上高	営業利益
ケミカル	4,221	2,933	-1,289	131	115	-16	2,780	50
住宅	1,703	1,577	-126	30	41	11	1,580	10
医薬・医療	628	563	-65	102	34	-68	570	35
繊維	641	487	-154	13	-29	-42	530	-35
エレクトロニクス	787	685	-102	126	28	-98	690	20
建材	313	246	-67	8	6	-2	250	0
サービス・エンジニアリング等	139	96	-43	31	10	-20	110	10
消去又は全社	-	-	-	-40	-26	13	-	-40
合計	8,432	6,586	-1,845	401	180	-222	6,510	50

* 09/1Q決算より一部セグメント名称を以下の通り変更。(次ページ以降同様)

(従来) ケミカルズ → (新) ケミカル (従来) ファーマ → (新) 医薬・医療
 ホームズ → 住宅 せんい → 繊維

† 08年度上期は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

‡ 09年度第1四半期決算発表時(09年8月4日)の予想。

セグメント別売上高・営業利益(2)(海外売上高)

(億円)

	08年度上期*			09年度上期			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカル	4,221	1,626	38.5	2,933	1,157	39.5	-469	-28.9
住宅	1,703	-	-	1,577	-	-	-	-
医療・医薬	628	149	23.7	563	125	22.2	-24	-16.0
繊維	641	211	33.0	487	152	31.3	-59	-28.0
エレクトロニクス	787	343	43.6	685	312	45.5	-31	-9.1
建材	313	-	-	246	-	-	-	-
サービス・エンジニアリング等	139	39	28.4	96	16	16.4	-24	-60.1
合計	8,432	2,369	28.1	6,586	1,762	26.7	-607	-25.6
東アジア地域 [†] への売上高		1,425	16.9		1,190	18.1	-235	-16.5

<参考>

住宅・建材を除いた売上高 6,416 2,369 36.9 4,764 1,762 37.0

* 08年度上期は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポアTM」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナTM」を繊維セグメントへ移管。

[†] 中国、韓国、台湾

セグメント別売上高増減要因(09/上 vs. 08/上)

(億円)

	08年度 上期*	09年度 上期	数量差	売値差	うち為替因	その他差	計
ケミカル	4,221	2,933	-549	-710	-53	-30	-1,289
住宅	1,703	1,577	-135	16	-	-7	-126
医薬・医療	628	563	30	-23	-15	-72	-65
繊維	641	487	-107	-47	-15	0	-154
エレクトロニクス	787	685	-80	-66	-13	44	-102
建材	313	246	-77	10	-	0	-67
サービス・エンジニアリング等	139	96	-43	0	0	0	-43
合計	8,432	6,586	-961	-820	-97	-65	-1,845

* 08年度上期は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

セグメント別営業利益増減要因(09/上 vs. 08/上) **AsahiKASEI**

(億円)

	08年度 上期*	09年度 上期	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカル	131	115	-63	-710	-53	757	-16
住宅	30	41	-51	16	-	46	11
医薬・医療	102	34	28	-23	-15	-73	-68
繊維	13	-29	-20	-47	-15	26	-42
エレクトロニクス	126	28	-16	-66	-13	-16	-98
建材	8	6	-25	10	-	12	-2
サービス・エンジニアリング等	31	10	-20	0	0	-0	-20
消去又は全社	-40	-26	-	-	-	13	13
合 計	401	180	-167	-820	-97	765	-222

* 08年度上期は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

2. 2009年度業績予想

当期の業績予想

(億円)

	08年度			09年度			増減 b-a	09年度 当初計画* c	増減 b-c
	上	下	計a	上実績	下予想	計b			
売上高	8,432	7,099	15,531	6,586	7,784	14,370	-1,161	13,550	820
営業利益	401	-52	350	180	320	500	150	410	90
経常利益	407	-82	325	151	319	470	145	390	80
当期純利益	234	-187	47	42	118	160	113	150	10

* 09年5月時点の予想。

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	78,350	39,500	58,925	37,250	40,000	38,625	-20,300	30,000	8,625
為替レート(相場平均¥/\$)	106	95	101	95	90	93	-8	95	-2

	08年度	09年度
1株当たり年間配当金	10円	10円 (予定)
配当性向	295.0%	87.4%

セグメント別売上高

(億円)

	08年度*			09年度			増減 b-a	09年度当初計画†			増減 b-c
	上	下	計a	上実績	下予想	計b		上	下	計c	
ケミカル	4,221	2,672	6,893	2,933	3,127	6,060	-833	2,380	2,530	4,910	1,150
住宅	1,703	2,396	4,099	1,577	2,363	3,940	-159	1,620	2,360	3,980	-40
医薬・医療	628	568	1,196	563	617	1,180	-16	570	640	1,210	-30
繊維	641	523	1,164	487	523	1,010	-154	560	580	1,140	-130
エレクトロニクス	787	510	1,297	685	785	1,470	173	630	820	1,450	20
建材	313	296	609	246	254	500	-109	300	300	600	-100
サービス・エンジニアリング等	139	134	273	96	114	210	-63	130	130	260	-50
合計	8,432	7,099	15,531	6,586	7,784	14,370	-1,161	6,190	7,360	13,550	820

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

† 09年5月時点の予想。

セグメント別営業利益

(億円)

	08年度*			09年度			増減 b-a	09年度当初計画†			増減 b-c
	上	下	計a	上実績	下予想	計b		上	下	計c	
ケミカル	131	-196	-65	115	100	215	280	60	90	150	65
住宅	30	188	219	41	179	220	1	10	170	180	40
医薬・医療	102	19	120	34	46	80	-40	30	60	90	-10
繊維	13	-28	-15	-29	-1	-30	-15	-25	5	-20	-10
エレクトロニクス	126	-54	73	28	52	80	7	10	70	80	0
建材	8	8	17	6	4	10	-7	5	10	15	-5
サービス・エンジニアリング等	31	26	56	10	5	15	-41	5	5	10	5
消去又は全社	-40	-16	-55	-26	-64	-90	-35	-45	-50	-95	5
合計	401	-52	350	180	320	500	150	50	360	410	90

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

† 09年5月時点の予想。

3. 参考資料

セグメント別売上高推移

(億円)

	08年度*				09年度		09年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	下期 予想
ケミカル	1,950	2,272	1,567	1,104	1,329	1,603	3,127
住宅	637	1,066	1,121	1,275	585	992	2,363
医薬・医療	346	282	296	272	285	278	617
繊維	307	334	281	242	224	263	523
エレクトロニクス	396	391	312	198	315	370	785
建材	147	166	167	129	116	130	254
サービス・エンジニア リング等	77	62	54	80	39	57	114
合 計	3,860	4,572	3,798	3,301	2,893	3,693	7,784

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

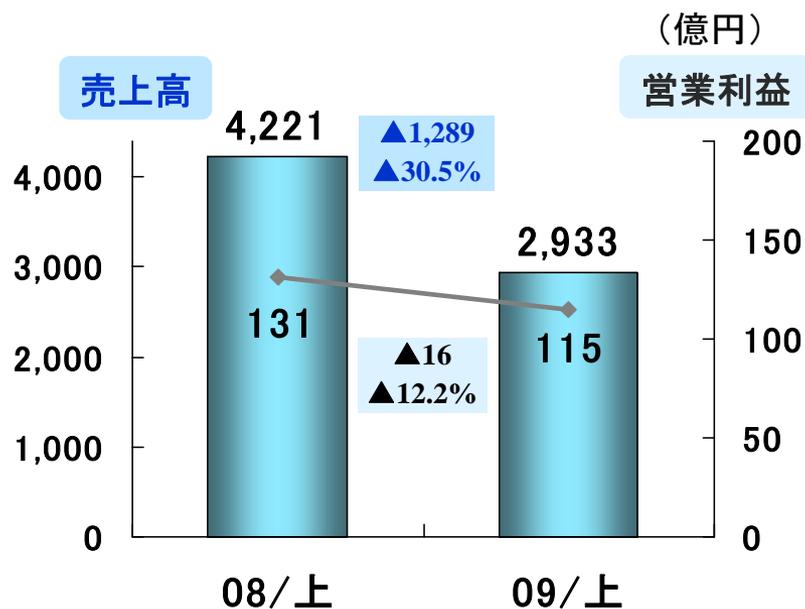
セグメント別営業損益推移

(億円)

	08年度*				09年度		09年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	下期 予想
ケミカル	62	69	-23	-173	22	93	100
住宅	-37	68	78	111	-30	71	179
医薬・医療	90	12	28	-9	31	3	46
繊維	11	2	-5	-22	-15	-14	-1
エレクトロニクス	68	58	12	-66	-6	34	52
建材	3	5	10	-2	-0	6	4
サービス・エンジニア リング等	13	18	10	15	4	6	5
消去又は全社	-16	-24	-11	-5	-10	-17	-64
合 計	194	207	99	-151	-3	183	320

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・汎用系事業

<モノマー系事業>

原燃料価格の急落に伴い製品価格が下落したものの、交易条件の改善などにより前年同期比減収、増益となった。

<ポリマー系事業>

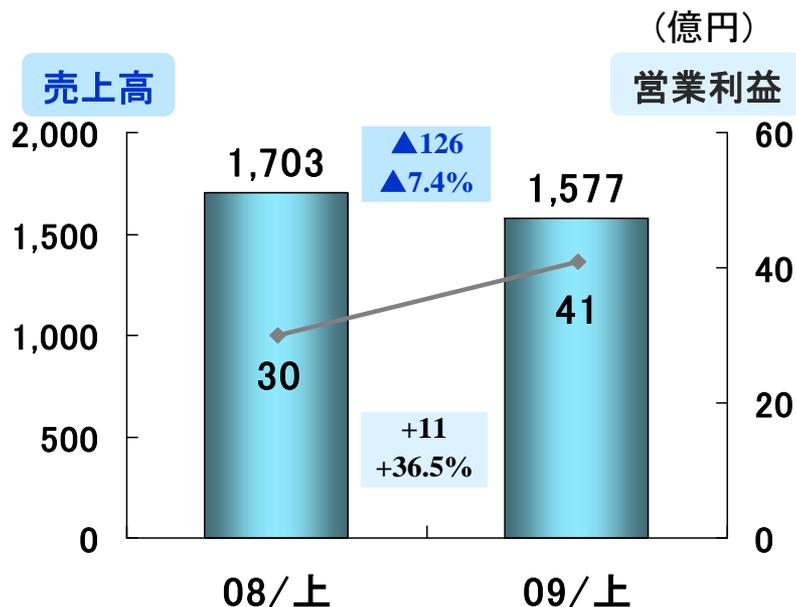
家電・自動車向け製品の販売数量が低調に推移し、前年同期比減収、減益となった。

・高付加価値系事業

高機能ウレタン塗料原料のHDI系ポリイソシアネート「デュラネート™」が堅調に推移したものの、水処理事業や交換膜事業などで業績の回復が遅れたことなどから、売上高は前年同期比減収、営業利益は前年並みとなった。

<トピックス>

- ・木質バイオマス発電設備の新設を決定。(4月)
- ・(株)三菱ケミカルホールディングスとの水島地区エチレンセンター統合に関する検討について発表。(6月)
- ・アジア最大規模のフィリピンの膜式水道浄水設備に水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザ™」の採用が決定。(6月)
- ・タイ国でのアセトニトリル事業化検討に関する覚書を締結。(6月)
- ・三菱化学(株)保有のPSジャパン(株)の全株式譲渡、当社と出光興産(株)での譲受けを決定。(8月、10月より連結子会社化)



事業別増減分析

(億円)

	08/上		09/上		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	1,294		1,158		-135	
分譲	60		52		-8	
他	7		8		1	
小計	1,360	6	1,219	14	-141	9
住宅周辺	343	25	358	27	16	2
合計	1,703	30	1,577	41	-126	11

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出。

<概況>

・建築請負事業・分譲事業

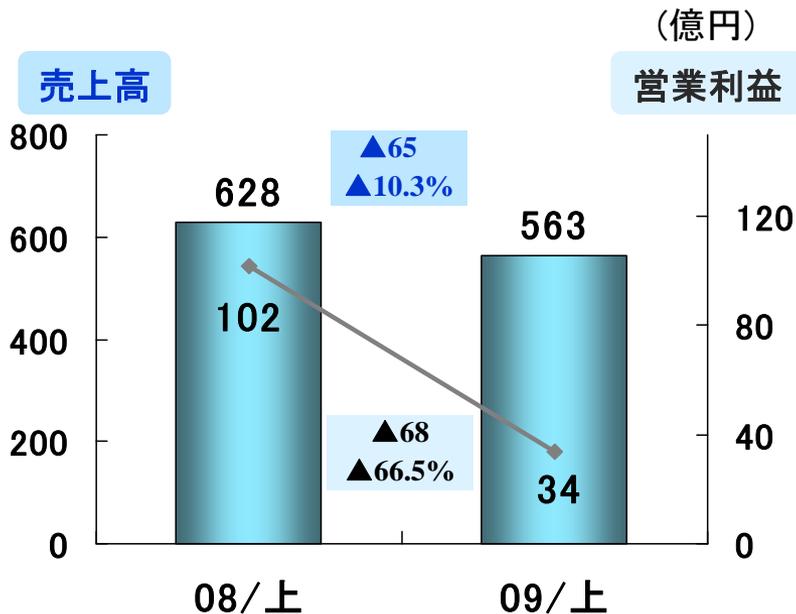
- ・戸建住宅「ヘーベルハウス™」の引渡戸数が大幅に減少したものの、コストの大幅な削減など経営の効率化に努めたことから、前年同期比減収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、厳しいマクロ環境の下、相対的に健闘し、前年同期比1.6%の減少に留まった。

・住宅周辺事業

リフォーム事業などを中心に堅調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・高性能・シンプルプランで求めやすい価格の「スマートヘーベルハウス™」を発売。(5月)
- ・旭化成(株)および旭化成ケミカルズ(株)との共同研究による高耐久・高性能光触媒塗装「デュラ光™」を発売。(7月)
- ・建替え市場をターゲットとした「ヘーベルハウス™新大地プレミアム」を発売。(8月)



<概況>

・医薬事業

排尿障害改善剤「フリバス™」やカルシトニン製剤「エルシトニン™」などが販売数量を伸ばしたものの、ライセンス収入が大幅に減少したことなどから前年同期比減収、減益となった。

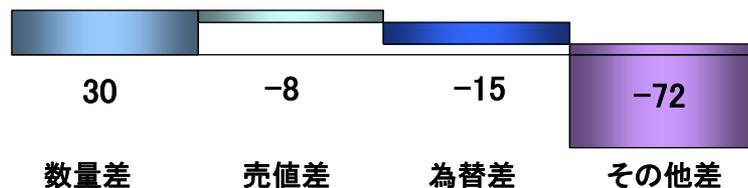
・医療事業

ウイルス除去フィルター「プラノバ™」や白血球除去フィルター「セパセル™」などが海外向け販売量を伸ばしたものの、各製品が円高の影響を強く受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

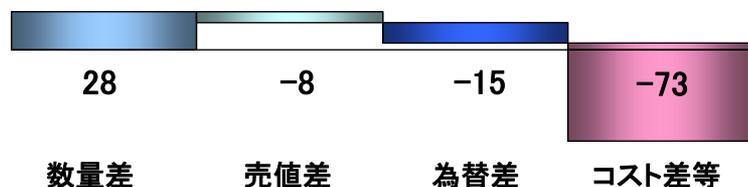
<トピックス>

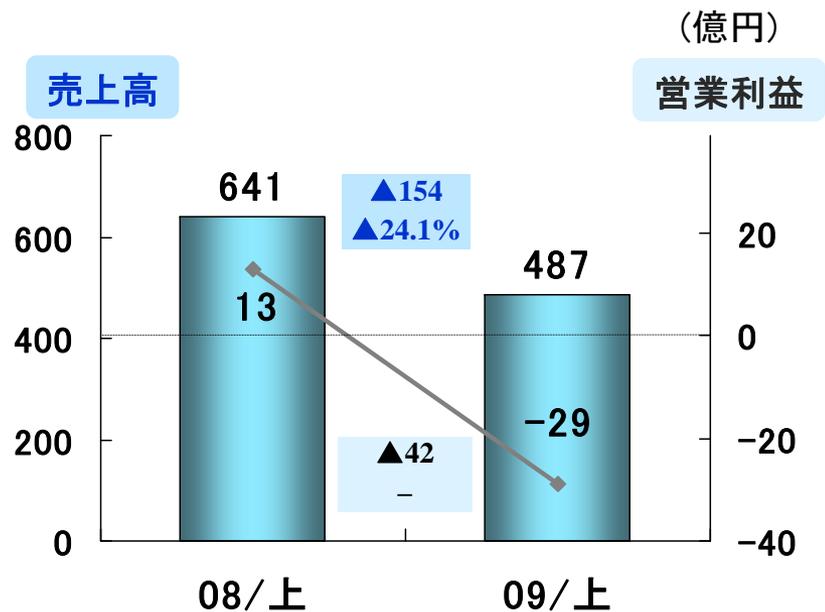
- ・「プラノバ™」の新紡糸工場竣工。(4月)
- ・「フリバス™」の韓国におけるライセンス契約の締結。(4月)
- ・「セパセル™」の新工場竣工。(4月)
- ・コエンザイムQ10製造・販売などの特薬事業からの撤退を決定。(5月)
- ・透析事業を行っているネクステージメディカル社との事業提携契約の締結。(5月)
- ・バイオ医薬品向け合成高分子新膜のウイルス除去フィルター「Planova™ BioEX」の発売。(6月)
- ・アフエレシス(血液浄化治療用機器)新工場の建設を決定。(9月、10年3月竣工予定)
- ・医療機器開発・製造メーカー(株)メテク的全株式譲受けを決定。(9月、10月より連結子会社化)
- ・韓国で医療機器販売会社の営業を開始。(11月)

売上高増減分析

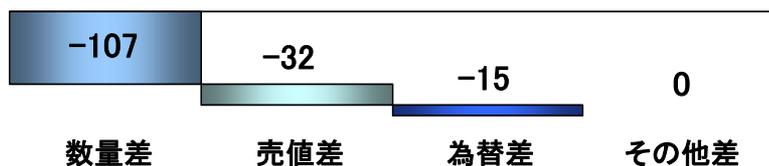


営業利益増減分析

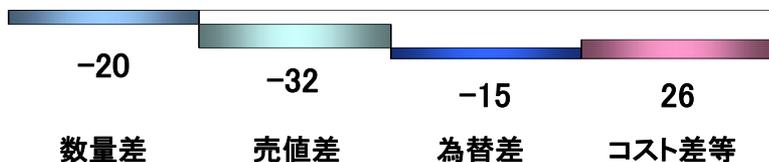




売上高増減分析



営業利益増減分析

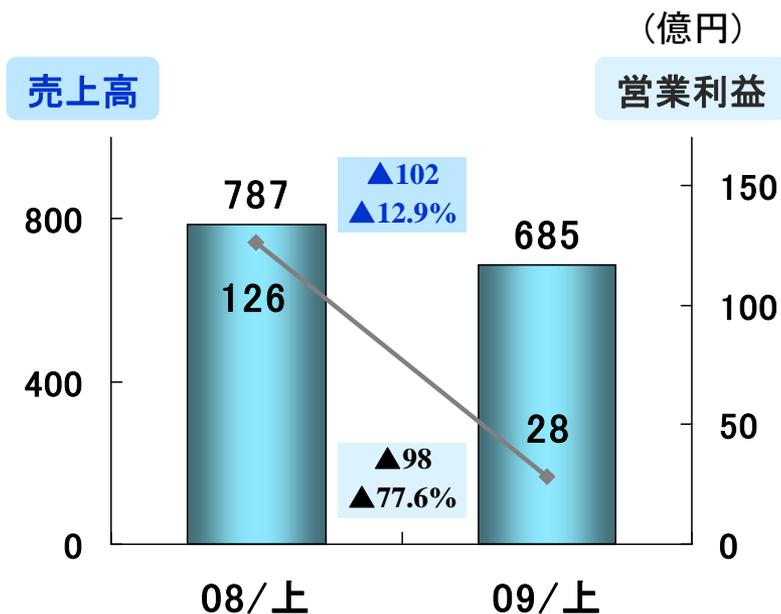


<概況>

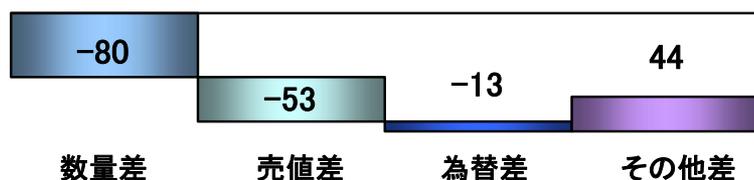
- ・全般的に販売数量が減少したことに加え、円高や製品価格下落の影響を受けたことから、前年同期比減収、減益となった。(各製品の状況は以下の通り。)
- ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」
海外市況の悪化による製品価格の下落等
- 再生セルロース繊維「ベンベルグ™」
国内外での販売数量の減少、円高の影響等
- 不織布事業
スパンボンドを中心とした販売数量の減少等
- ナイロン66繊維「レオナ™」
タイヤコード向け製品の販売数量の減少等

<トピックス>

- ・帝人ファイバー(株)とのPTT繊維事業合併会社ソロテックス(株)の解散を決定。(7月)



売上高増減分析



営業利益増減分析



<概況>

・電子部品系事業

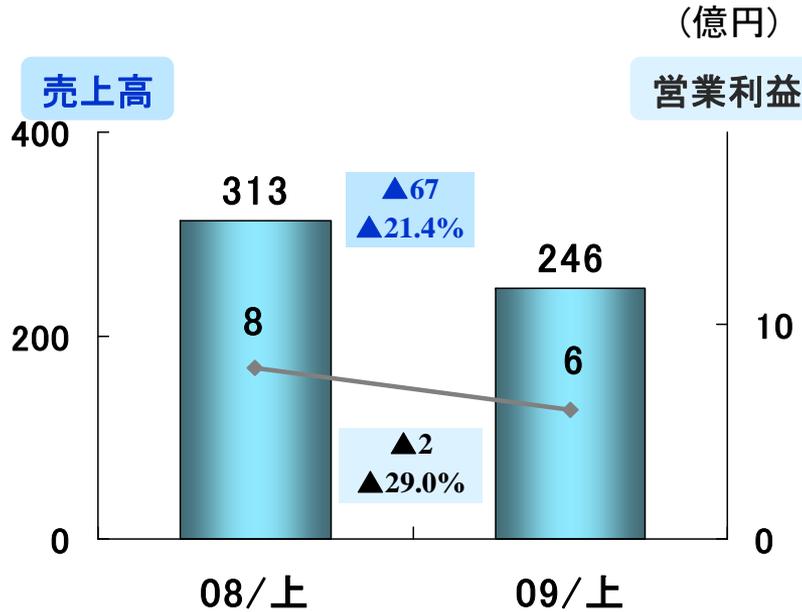
エレクトロニクス業界全般の市場環境が緩やかな回復傾向の中で、LSIの新規用途での販売量が増加したものの、既存用途向けLSIや磁気センサなどの販売量減少に加え、円高の影響を受けたことなどから、前年同期比増収、減益となった。

・電子材料系事業

リチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」やガラスクロスなどの販売量が減少したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

<トピックス>

- ・東光(株)より半導体事業を譲受け。(4月)



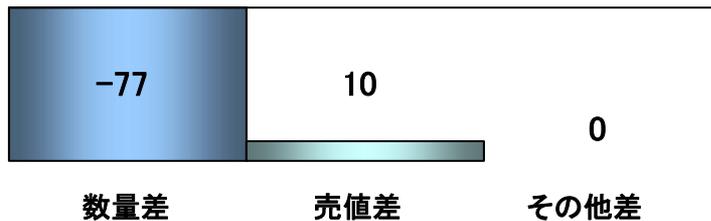
<概況>

軽量気泡コンクリート「ヘーベルTM」系製品などの建築・住宅用資材を扱う住建事業や、基礎杭などの基礎事業及び断熱材事業において、新規用途の開拓やコストの削減に努めたものの、建築着工数の減少により販売数量が減少したことから、前年同期比減収、減益となった。

<トピックス>

- ・軽量気泡コンクリート白老工場の閉鎖を決定。(5月)

売上高増減分析



営業利益増減分析



- ・体内植込み型左心室補助人工心臓「エヴァハート™*」の海外展開協力
についての基本合意(4月)、米国での治験の条件付承認取得。(9月)

(株)ミスズ・サンメディカルHDの100%子会社である(株)サンメディカル技術研究所が開発中の「エヴァハート™」の日本以外における臨床開発、許認可取得、販売での両社の協力について合意し、米国での治験の条件付承認を取得した。

- ・新事業開発棟の竣工、運用開始。(9月)

電子・光学材料及び環境・エネルギー分野の研究開発、新規事業創出を強力に推進していくため、その拠点となる研究開発施設を建設した。

- ・植込み型心電用データレコーダ「Reveal®† DX」の販売開始。(10月)

原因が特定できない失神のある患者に適応される植込み型心電用データレコーダの保険適用開始の決定に伴い、日本メドトロニック(株)から独占的に仕入れ、販売を開始した。

*「エヴァハート™」は(株)サンメディカル技術研究所の登録商標。

†「Reveal®」はMedtronic, Inc.の登録商標。

セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費 **AsahiKASEI**

(億円)

	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	08年度*	09/上	09年度 予想	08年度*	09/上	09年度 予想	08年度*	09/上	09年度 予想
ケミカル	363	158	290	322	150		146	66	
住宅	70	33	50	34	21		25	10	
医薬・医療	316	42	125	103	57		164	90	
繊維	124	24	60	72	37		39	19	
エレクトロニクス	318	115	250	198	101		184	88	
建材	24	7	25	36	16		10	5	
サービス・エンジニア リング等	11	4	10	8	4		1	1	
消去又は全社	41	88	90	21	9		39	20	
合計	1,267	471	900	794	395	860	608	301	625

<参考>

投資有価証券の取得[†] 175 56 120
 (支払ベース、上記設備投資額の外数)

† 主な案件: タイ国でのAN、MMA共同事業化に伴う出資

* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- 旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

<09年度上期完工件名>

- ・白血球除去フィルター「セパセル™」生産能力増強
(08/3~09/4、400万本/年、大分)
- ・石油残渣物を燃料とするボイラー設備新設
(07/2~09/7、水島)
- ・「新事業開発棟」建設
(08/8~09/8、富士)
- ・食塩電解プロセス用イオン交換膜生産能力増強
(川崎)
- ・リチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」製造設備能力増強(守山)
- ・LSI製造設備能力増強
(延岡)

○:投資額30億円以上

<09年度上期末時点 工事中件名>

- ・排尿障害改善剤ナフトピジル生産設備新設
(09/10、延岡)
- ・(タイ旭化成スパンデックス)
「ロイカ™」製造設備能力増強
(08/5~09/11、タイ)
- ・ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」の中空糸紡糸製造設備増設
(08/5~09/12、600万束/年、延岡)
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ™」組立工場生産能力増強(大分で新設)
(09/1~10/3、40,000m²/年、大分)
- ・アフエレシス(血液浄化治療用機器)新工場建設
(09/9~11/3、大分)
- ・LSI製造設備能力増強
(延岡)
- ・「ハイポア™」製造設備能力増強(守山)、新設(日向)
(09年度(上期完工と合わせて)3,000万m²/年、守山、
2,000万m²/年、日向)
(10年度、1,500万m²/年、守山、2,000万m²/年、日向)

住宅(1)

1. 売上高、受注高の状況

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
05	上期	1,504 (▲1.7%)	1,402 (0.9%)	205 (213.0%)	4	1,611 (10.4%)	243 (14.1%)	1,853 (10.8%)	3,204
	下期	1,629 (9.5%)	1,793 (4.3%)	131 (▲3.6%)	6	1,930 (3.8%)	261 (16.0%)	2,192 (5.1%)	3,040
	通期	3,133 (3.8%)	3,194 (2.8%)	336 (67.0%)	11	3,541 (6.7%)	504 (15.1%)	4,045 (7.7%)	
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.2%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.7%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	1,219 (▲10.4%)	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	下予	1,544 (15.3%)	1,692 (▲4.9%)	283 (18.0%)	7	1,982 (▲2.2%)	382 (3.5%)	2,363 (▲1.4%)	3,065
	通期見通し	3,090 (6.2%)	2,850 (▲7.2%)	335 (11.9%)	15	3,200 (▲5.5%)	740 (3.9%)	3,940 (▲3.9%)	

* 他: 損害保険販売手数料収入等

2. 2009年度上期 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年同期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸	低層	756	-12.3%	2,575	-16.0%	969	-4.1%	3,077	-6.3%
	中層	284	-8.8%	1,022	13.4%	328	-10.2%	1,360	13.6%
建	小計	1,040	-11.4%	3,597	-9.3%	1,297	-5.7%	4,437	-1.0%
集	低層	43	-18.8%	404	-24.2%	80	3.7%	749	9.0%
	中層	75	13.0%	686	5.5%	169	42.2%	1,494	20.0%
系	小計	118	-1.2%	1,090	-7.9%	249	27.0%	2,243	16.1%
合計		1,158	-10.5%	4,687	-9.0%	1,546	-1.6%	6,680	4.2%
分譲事業等		52	-12.6%	62	-63.3%	-	-	-	-
他*		8	21.1%	-	-	-	-	-	-
合計		1,219	-10.4%	4,749	-10.7%	1,546	-1.6%	6,680	4.2%
関係会社等		358	4.4%	-	-	-	-	-	-
総合計		1,577	-7.4%	4,749	-10.7%	1,546	-1.6%	6,680	4.2%

* 他:損害保険販売手数料収入等

3. 2009年度予想 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸	低層	1,797	-8.4%	6,180	-11.6%	1,939	3.1%	6,350	0.5%
	中層	678	-6.7%	2,395	-1.2%	653	2.7%	2,535	7.4%
建	小計	2,475	-7.9%	8,575	-8.9%	2,592	3.0%	8,885	2.3%
集	低層	135	-7.0%	1,335	-7.9%	175	25.4%	1,450	14.0%
	中層	240	0.6%	2,390	-0.5%	323	27.0%	2,945	17.6%
系	小計	375	-2.3%	3,725	-3.3%	498	26.4%	4,395	16.4%
合計		2,850	-7.2%	12,300	-7.3%	3,090	6.2%	13,280	6.6%
分譲事業等		335	11.9%	760	1.2%	-	-	-	-
他*		15	-2.3%	-	-	-	-	-	-
合計		3,200	-5.5%	13,060	-6.8%	3,090	6.2%	13,280	6.6%
関係会社等		740	3.9%	-	-	-	-	-	-
総合計		3,940	-3.9%	13,060	-6.8%	3,090	6.2%	13,280	6.6%

* 他:損害保険販売手数料収入等

4. 関係会社損益

(億円)

	08/上		09/上	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
旭化成リフォーム	157	16	162	18
旭化成不動産	175	6	184	6

<概況>

旭化成リフォーム

09年度上期は、建築請負事業からの転入者を中心に人員を増強し、太陽光発電などの環境対応型商品の導入などにより受注確保に努め、増収、増益となった。下期も、新規受け入れ人員の戦力化に努め、着実に受注を確保することによって人員増による固定費負担増を吸収し、通期で増収、前年並みの営業利益を目指す。

旭化成不動産

09年度上期は、賃貸管理戸数の増加により増収となり、若干の空室率の上昇があったものの、仲介事業の収益改善が進み、営業利益はほぼ前年並みとなった。下期は、賃貸管理戸数を着実に増やすとともに空室率の改善に努め、通期で増収、増益を目指す。

1. 売上高内訳

(億円)

		08年度		09年度	
		上期	年間	上期	年間見込み
医薬系	医薬	304	563	267	548
	その他	54	103	40	82
	計	358	666	307	630
医療系*		270	530	256	550
医薬・医療 計		628	1,196	563	1,180

* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計。

<主要医薬品の国内売上高>

	08年度		09年度	
	上期	年間	上期	年間見込み
エルシトニン™	68	132	73	140
フリバス™	45	98	68	138
ブレディニン™	31	62	33	65
トレドミン™	29	57	26	53
エリル™	7	14	7	15
リコモジュリン™	2	4	5	13

2. 主要医薬品の説明

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	共同開発会社
エルシトニン™注 20S エルシトニン™注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤	—
フリバス™	ナフトピジル	α1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う排尿障害	錠剤	—
ブレディニン™	ミゾリビン	免疫抑制剤	慢性関節リウマチ、腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤	—
トレドミン™	塩酸ミルナシプラン	セロトニン・ノルアドレナリン再取込阻害剤(SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤	—
エリル™	塩酸ファスジル	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善	注射剤	—
リコモジュリン™ (2008年5月発売)	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	抗血液凝固剤	DIC(汎発性血管内血液凝固症候群)	注射剤	—
ファムビル™ (2008年7月発売、マルホ(株)に販売を委託)	ファムシクロビル	抗ウイルス剤	帯状疱疹	錠剤	(提携) ノバルティス ファーマ

3. 研究開発の状況

	品目	区分	剤名	適応症
フェーズⅢの品目	①AT-877注	適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	脳梗塞急性期
	②PTH注	新成分新薬	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
	③AK-120錠	適応拡大	(抗ヘルペスウィルス剤)	単純疱疹
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	適応拡大 剤型追加	(ローキナーゼ阻害剤)	肺高血圧症
フェーズⅡ準備中	①AK150注	新成分新薬	(ポリ硫酸ペントサン)	変形性関節症

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会で高まる医療ニーズを解決するために整形外科領域や泌尿器領域を中心に積極的に活動しています。今後共、医療ニーズをいち早く捉え解決するために研究開発対象や自社技術を絶えず革新するとともに、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進します。

業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。